

荒川流域の生き物たち

水生生物・陸上生物・鳥

おもしろ発見散歩ガイド



ニホンリス

頭胴長20cm、尾長15cmほど。夏毛は赤褐色、冬毛は黄褐色で、腹は白い。森林に生息し、木の実や木の葉、昆虫などを食べる。小枝や葉を集め、枝の間に巣を作る。

地域資源∞全国展開プロジェクト
「ふくしま荒川ミュージアム」
地域再発見プロモーション事業実行委員会
福島商工会議所
〒960-8053 福島県福島市三河南町1-20 コラッセふくしま8階
TEL:024-536-5511 FAX:024-525-3566

荒川流域の水生生物

蛇蜻蛉

水 きれい
湖 平瀬・早瀬
床 礫・石
食 肉食
幼虫の体は赤褐色。孫太郎虫といわれ唇の葉とされている。
分類 ヘビトンボ目ヘビトンボ科

タイリククロスジヘビトンボ

水 きれい
湖 平瀬・早瀬
床 礫・石
食 肉食
幼虫の体は黒褐色である。成虫は樹液や果汁を集まる。
分類 ヘビトンボ目ヘビトンボ科

ヒゲナガカワトビケラ

水 きれい・少し汚い・汚い
湖 平瀬・早瀬
床 礫・石
食 動植物片
石と石の間に小石をつないで網をつくり、その中に入った有機物を食べる。
分類 トビケラ目ヒゲナガカワトビケラ科

ウルマーシマトビケラ

水 きれい・少し汚い・汚い
湖 平瀬・早瀬
床 礫・石
食 動植物片
捕獲網を作り、それにかかった有機物を食べる。
分類 トビケラ目シマトビケラ科

オオクラカケカワゲラ

水 きれい
湖 平瀬・早瀬
床 礫・石
食 肉食
前頭部にマ形の淡色部がある。
分類 カゲロウ目カケカワゲラ科

カミラカワゲラ

水 きれい
湖 平瀬・早瀬
床 礫・石(中)
食 肉食
後頭部に明瞭な横に隆起した部分がある。又頭部にM字の紋がある。
分類 カゲロウ目カワゲラ科

モンカワゲラ

水 きれい
湖 平瀬・早瀬
床 礫・石
食 腐敗途中の動植物の残り
体の正中線に長い毛がある。
分類 カゲロウ目カワゲラ科

タニヒラタカゲロウ

水 きれい・少し汚い
湖 平瀬・淵
床 礫・石(中)
食 付着藻類
尾毛は2本、エラに斑紋がある。石に付着した藻類を食べる。
分類 カゲロウ目ヒラタカゲロウ科

アミメカワゲラの仲間

水 きれい
湖 平瀬・早瀬
床 礫・落葉
食 肉食
幼虫は一年中確認。成虫は6~10月。
分類 カワゲラ目アミメカワゲラ科

クロバアミカ

水
湖 瀬・早瀬
床 礫・大石
食 藻類を食する
石や岩に吸着して生活する。
分類 ハエ目アミカ科

トワダカワゲラ

水 きれい
湖 沢
床 落葉・どろ・礫
食 腐敗途中の動植物の残り、小昆虫
比較的水量の少ない川や沢に住む。成虫は翅がなく、その為には地域に隔離されやすい。
分類 カワゲラ目トワダカワゲラ科

シロタニガワカゲロウ

水 きれい・少し汚い
湖 平瀬・淵
床 礫
食 藻類を食する
尾毛は3本で石に付着した。
分類 カゲロウ目ヒラタカゲロウ科

クロマダラカゲロウ

水 きれい・少し汚い
湖 平瀬
床 礫
食 腐敗途中の動植物
黒褐色の体で中央部に白色縦線が入るものもある。
分類 カゲロウ目マダラカゲロウ科

ヒメフタオカゲロウ

水 きれい・少し汚い
湖 平瀬・早瀬
床 礫
食 腐敗途中の動植物
分類 トビケラ目エグリトビケラ科

トワダナガレトビケラ

水 きれい
湖 平瀬
床 礫
食 肉食
生活はよく解っていない。肉食と考えられる。
分類 トビケラ目ナガレトビケラ科

オオマダラカゲロウ

水 きれい・少し汚い
湖 平瀬
床 礫
食 腐敗途中の動植物の残り
前肢関節の前縁に突起がある。体色は変化に富み、黒・赤褐色となる。
分類 カゲロウ目マダラカゲロウ科

エグリトビケラの仲間

水 きれい
湖 沢
床 砂
食 肉食
石をつないで筒状の巣を作る。
分類 トビケラ目エグリトビケラ科

ヒロバカゲロウ

水 きれい・少し汚い
湖 半水生
床 しぶきのかかる岩のこけ
食 肉食
小動物を捕まえて体液を吸収する。
分類 アミメカゲロウ目ヒロバカゲロウ科

ガガンボの仲間

水 少しきれい・汚い
湖 瀬・止水
床 落葉・どろ
食 肉食
この仲間上流から下流まで範囲に生息。
分類 ハエ目ガガンボ科

オナガサナエ

水 少し汚い
湖 瀬・淵
床 砂・礫
食 肉食
分類 トンボ目サナエトンボ科

ダビドサナエ

水 きれい・少し汚い
湖 瀬・淵
床 砂・礫
食 肉食
分類 トンボ目サナエトンボ科

コカゲロウの仲間

水 きれい
湖 瀬
床 水底の石の水際
食 肉食
幼虫は一年中見られる。
分類 カゲロウ目コカゲロウ科

チラカゲロウ

水 きれい・少し汚い
湖 早瀬・平瀬
床 礫
食 肉食
水中をチラチラと泳ぐ。体長18mm前後。
分類 カゲロウ目チラカゲロウ科

灰色源五郎

水 きれい・少し汚い
湖 池、田んぼ
食 肉食
水の中では茶早く泳ぐ。水面から真直ぐ飛び、南方系で数が少ない。体長12~16mm。
分類 コウチュウ目ゲンゴロウ科

水蠅螂

水 少し汚い・汚い
湖 池・水田
床 泥や植物の中
食 肉食で昆虫や小魚
オタマジャクシなど。11月頃水底で成虫冬眠する。体長40~50mm。
分類 カメムシ目タイコウチ科

鬼蜻蛉

水 少し汚い
湖 池・水田・小川
床 泥
食 小魚・昆虫など
体長40~50mm。ふだんは体を泥の中に埋め、エモノをねらう。
分類 トンボ目オニヤンマ科

小鬼蜻蛉

水 少し汚い
湖 緩やかなよどみ
床 落葉のたまり
食 有機物
トンボのヤコ。体長35mm前後。
分類 トンボ目サナエトンボ科

羽黒蜻蛉

水 きれい・少し汚い
湖 平瀬・早瀬
床 礫
食 肉食
トンボのヤコ。体長35mm前後。
分類 トンボ目カワトンボ科

箱根山椒魚

水 きれい
湖 沢・水たまりの流れが浅い淡水
床 落葉・どろ・礫
食 肉食(昆虫・ミミズ等)
両生類。肺を持たず、皮膚呼吸する。皮肉呼吸する。標高の高い山地(川の源流)。
分類 有尾目サンショウウオ科

赤腹井守

水 きれい
湖 流れのない淀み
床 水田・池・川など
食 小昆虫・ミミズ等
日本の固有種。腹の赤はテトリトキシンの毒を持つ。[井守]の井は田の意味と井戸の意味がある。体長100mm前後。
分類 有尾目イモリ科

日本赤蛙

水 平池や丘陵の草地の水辺
床 平地や丘陵の草地の水辺
食 肉食で昆虫やクモ
3~11月。水陸両生類。昼夜行動する。卵生。体長40~60mm。
分類 無尾目アカガエル科

河鹿蛙

水 きれい
湖 瀬・淵
床 礫
食 小昆虫類
雄は深流の岩の上でフィーチャーときれいな声で鳴く。指先の吸盤が大きい。
分類 無尾目アカガエル科

たご蛙

水 きれい
湖 沢・森林内の沢
床 泥
食 小昆虫
雄は沢の岩や倒木の下でフィーチャーときれいな声で鳴く。森林生物。
分類 無尾目アカガエル科

川螺

水 きれい・少し汚い
湖 小川・水路
床 田んぼの水路など淡水
食 有機物
場所によっては食用とする所がある。蛭の幼虫のえさ。体長30~40mm。
分類 カワニナ科

沢蟹

水 きれい
湖 沢
床 礫・小石
食 植物片・小昆虫
支流や沢の礫や小石の下に生活し、一生を淡水域で過ごす。
分類 エビ目サワガニ科

鱒

水 少し汚い・汚い
湖 平瀬
床 砂・礫・玉石の下
食 ムラサキケマン(幼虫)・花の蜜
北海道から移入され、各所に広がったと言われる。
分類 コイ目ジョウ科

鰍

水 きれい
湖 川の上流で平瀬・早瀬
床 礫
食 川虫
川の上流・日本固有種。水温の低いきれいな瀬に住む。雄は縄張りもち卵を守る。
分類 カサゴ目カサガ科

荒川流域で見られる陸上生物

前面へつづく

筋黒白蝶

地 畑・山道
時 3~10月
体 30mm前後
食 キャベツ・アブラナ等(幼虫)・花の蜜
全世界に分布。年4~5回発生。
分類 チョウ目シロチョウ科

大和小灰蝶

地 住宅の庭・路傍
時 春から秋
体 20mm前後
食 カタバミ(幼虫)・花の蜜(成虫)
普通に見られるチョウ。日当たりが良い平地、道端にいる。幼虫がカタバミを食べる。
分類 チョウ目シジミチョウ科

瑠璃小灰蝶

地 明るい草地
時 3~11月
体 20~25mm
食 フジ等のマメ科植物(幼虫)・花の蜜
オスは明るい青藍色。メスは外縁部が広く黒褐色。
分類 チョウ目シジミチョウ科

紅小灰蝶

地 草原
時 4~6月
体 15mm
食 スイノ類(幼虫)・花の蜜(成虫)
日当たりのよい草原で見られる。成虫は年3~5回、春から秋にかけて発生。
分類 チョウ目シジミチョウ科

薄羽白蝶

地 低山地の草原
時 7~8月
体 25~35mm
食 ムラサキケマン(幼虫)・花の蜜
ひらひらとゆっくり飛び、目立つ。氷河期等の生き残りと言われている。
分類 チョウ目アゲハチョウ科

黒日陰蝶

地 暗い雑木林
時 5~10月
体 50~60mm
食 メダケ類(幼虫)・樹液(成虫)
薄暗い林内で素早く飛び、翅と間違えられない。翅を開くことは好まれない。幼虫で越冬。
分類 チョウ目タテハチョウ科

胡麻斑蝶

地 雑木林
時 5~8月
体 35~45mm
食 エノキ(幼虫)・クヌ平の樹液(成虫)
日本を含む東アジアに分布。黒褐色の羽に白帯や帯模様があり、それが和名の由来。
分類 チョウ目タテハチョウ科

一文字せせり蝶

地 低山地の草原
時 6~10月
体 25~32mm
食 イネ科植物(幼虫)・花の蜜(成虫)
後腹の銀紋が一文字状に並ぶ。
分類 チョウ目セセリチョウ科

姫赤立羽

地 草原・休耕地・河
時 5~10月
体 40~50mm
食 ゴボウ・ハハコグサ
日当たりよい草むらや田畑・触角の先端が白い。この辺では越冬出来ない。
分類 チョウ目タテハチョウ科

黄立羽

地 荒地
時 3~11月
体 20~30mm
食 カナムグラ(幼虫)・花の蜜(成虫)
羽を開くと60mm。成虫越冬。枯葉にはいると保護色となる。
分類 チョウ目タテハチョウ科

墨流し

地 森林の周辺
時 5~9月
体 32~44mm
食 アワブキ(幼虫)・樹液(成虫)
黒い翅に青緑色を帯びた模様をしている。幼虫で越冬。
分類 チョウ目タテハチョウ科

細羽せせり

地 草原・低地の明るい
時 6~8月
体 30~35mm
食 イネ科植物(幼虫)・花の蜜(成虫)
ススキやイネ科を好む。発生は年1回。幼虫で越冬。
分類 チョウ目ホソバセセリ科

小茶翅せせり蝶

地 明るい草地
時 5~9月
体 34~37mm
食 イネ科植物(幼虫)・花の蜜(成虫)
こげ茶色。
分類 チョウ目セセリチョウ科

黄斑せせり蝶

地 低山地の草原
時 6~9月
体 25~32mm
食 イネ科植物(幼虫)・花の蜜(成虫)
翅は三角形で早く飛び。
分類 チョウ目セセリチョウ科

一文字せせり蝶

地 低山地の草原
時 6~10月
体 34~40mm
食 イネ科植物(幼虫)・花の蜜(成虫)
後腹の銀紋が一文字状に並ぶ。
分類 チョウ目セセリチョウ科

夕斑枝尺

地 低山地の草原
時 6~9月
体 40~60mm
食 マサギ(幼虫)・クヌ平の樹液(成虫)
夕方に活動。マダラの模様の翅に擬態する。ジャックガが付いているように。
分類 鱗翅目ジャクガ科



荒川流域で見られる陸上生物

足田地図紋青尺 アシブトチズモンアオジャク

場 低山地の草むら
時 4~5月・7~8月秋
体 19mm
食 ティカズラを食べる
 地図の模様青いジャクガ。
分類 鱗翅目ジャクガ科

日本川蜻蛉 ニホンカワトンボ

場 清流
時 4~7月
体 50~60mm
食 小昆虫
 全身金緑色。色合いが美しいトンボ。♂は翅が橙色と透明のタイプがいる。
分類 トンボ目カワトンボ科

茶昆蜻蛉 ダビドサナエ

場 山地深流及び山道
時 5~7月
体 43mm
食 小昆虫
 春~夏に。
分類 トンボ目サナエトンボ科

鬼蜻蛉 オニヤンマ

場 野道・山道
時 6~9月
体 90~100mm
食 他のトンボやチョウなどの小昆虫
 日本最大のトンボ。左右の複眼が一点に接している。
分類 トンボ目オニヤンマ科

秋茜 アキアカネ

場 草原・田畑
時 6~11月
体 40mm
食 小昆虫
 低地で羽化し、夏季は高地に集まる。
分類 トンボ目トンボ科

深山踏飛蝗 ミヤマフキバッタ

場 川原・山道の傍
時 7~10月
体 25~35mm
食 フキやクズの葉
 和名の由来はフキを好み食べるから。翅が短く機能しない(退化)。
分類 バッタ目バッタ科

川原飛蝗 カワラバッタ

場 石ころ多い川原
時 8~9月
体 25~43mm
食 イネ科の植物
 飛んだ時後翅がきれいな水色のバッタ。日本固有種。
分類 バッタ目バッタ科

邯鄲 カンタン

場 背丈の高い草地
時 8~9月
体 11~15mm
食 植物の葉や動物片
 コオロギの仲間。体は細長く扁扁平。触角が長い。ルーラーを長く嚼く。
分類 バッタ目バッタ科

背筋露虫 セスジツコムシ

場 低山地の草むら
時 8~9月
体 35mm
食 植物の葉や動物片
 背に茶色の筋がある。チツ・チツ・チツと嚼く。
分類 バッタ目キリギリス科

露虫 ツコムシ

場 背丈の高い草地
時 8~9月
体 65~90mm
食 植物の葉や動物片
 体は細長く扁扁平。触角が長い。体色が緑色と褐色のタイプがある。
分類 バッタ目キリギリス科

馬追 ウマオイ

場 林縁の草むら
時 夏から秋
体 28~36mm
食 肉食性(小昆虫)
 開けた草地、畑、川原夜間雄は、スイッチョンとかギェーンと嚼く。
分類 バッタ目キリギリス科

オオセンチコガネ

場 林道・林内・牧場
時 5~10月
体 15~22mm
食 動物の糞
 赤紫色に輝くきれいなセンチコガネ。場所によって色に変化がみられる。
分類 コウチュウ目センチコガネ科

亀子瓢虫 カメノコテントウムシ

場 里山の林
時 4月~秋
体 8~12mm
食 成虫、幼虫ともクルミミハムシを食べる
 冬の基団越冬する。
分類 コウチュウ目テントウムシ科

小鍬形 コクワガタ

場 クヌギ・コナラ・ブナ
時 5~10月
体 21~30mm
食 クヌギ・コナラ・ヤナギ等の樹液
 日本本土に分布。クワガタの中で一番馴染が深い種類。
分類 コウチュウ目クワガタシ科

胡麻斑髪切 ゴマダラカミキリ

場 森林
時 6~8月
体 25~35mm
食 大型で色々な木を食べる。柳、栗、桑、無花果。
 日本に分布し一番知られている種類。
分類 コウチュウ目カミキリシ科

瑠璃髪髪切 ルリボシカミキリ

場 山の貯木場
時 6~9月
体 16~30mm
食 ブナ・クルミを好む
 コオロギの仲間。体は細長く扁扁平。触角が長い。ルーラーを長く嚼く。
分類 コウチュウ目カミキリシ科

白筋髪切 シロスジカミキリ

場 里山の雑木材
時 夏
体 50mm 前後
食 クリ・クヌギ・ナラ・ブナ
 里山の代表的なカミキリムシ。日本のカミキリムシの中では最大。触角は体長の1~1.5倍。木の中に産卵。
分類 コウチュウ目カミキリシ科

蝦夷蟬 エソゼミ

場 林縁部スギなどの針葉樹林
時 7~8月
体 33~60mm
食 赤松の汁
 北海道から北九州まで分布している大型のゼミ。
分類 カメムシ目ゼミ科

油蟬 アブラゼミ

場 サクラ等のバラ科樹木
時 7~9月
体 28~36mm 位
食 木の汁
 ゼミの翅は透明だがこのゼミは不透明である。低地の雑木林、果樹園に多い。
分類 カメムシ目ゼミ科

ミンミン蟬 ミンミンゼミ

場 サクラ・ケヤキに良くとまる。
時 7~9月
体 33~36mm
食 木の汁
 日本産のゼミとしては鮮やか。サクラ、ケヤキに良くとまる。
分類 カメムシ目ゼミ科

トホシカメムシ

場 高地の森林の中
時 6~10月
体 17~23mm
食 草木の汁
 大型のカメムシ。サクラ類ニシ類の樹上にいる事が多い。
分類 カメムシ目カメムシ科

源氏虫 ゲンジボタル

場 水辺・山の縁
時 7~8月
体 12~18mm
食 カワナナ(幼虫)
 ホタルでは一番大きいホタルの仲間。弾丸のように速いスピードで飛び、頭が赤く体は黄緑色。
分類 コウチュウ目ホタル科

平家虫 ヘイケホタル

場 田んぼの水路など
時 7~8月
体 8mm 位
食 カワナナ(幼虫)
 ゲンジボタル、ヘイケボタルもカワナナを食べる。
分類 コウチュウ目ホタル科

陣笠羽虫 シンガサハムシ

場 低山地の草原
時 5~8月
体 9mm
食 幼虫も成虫もヒルガオの葉
 透明な甲羅を持った変わったハムシ。腹部中央と腹部の不透明部分は金色に輝く。
分類 コウチュウ目ハムシ科

花潜 ハナムグリ

場 5~8月
体 14~18mm
食 キク科の花粉や蜜
 キク科等の花に飛来して花粉や蜜を接種する。昼行性。
分類 コウチュウ目コガネシ科

大蠅螂 オオカマキリ

場 林縁部
時 8~11月
体 33~60mm
食 生きた小昆虫
 大型のカマキリ。緑色型と褐色型がある。
分類 カマキリ目カマキリ科

帝徳利蜂 ミカドトクリバチ

場 草原・林の縁
時 7~9月
体 10~15mm
食 ガの幼虫
 徳利のような巣を作る。黒い体に黄色の紋がある。
分類 ハチ目スズメバチ科

七節・竹節虫 エダナナフシ

場 里山の林縁・林のヘリ
時 7~11月
体 100mm
食 木の葉
 木の枝に擬態する姿が特徴。
分類 ナナフシ目ナナフシ科

縞蛇 シマヘビ

場 耕地・河川敷
時 6~10月
体 80~150cm
食 80~150cm
食 小鳥、小魚、カエル、トカゲを食する
 4本の黒い縦線模様が入る。あまり木に登らない。
分類 有鱗目ナミヘビ科

日本金蛇 ニホンカナヘビ

場 陸生
時 6~10月
体 18~25cm
食 肉食
 水辺の宝石と呼ばれるコバルト色の美しい小鳥。空中で停空翔舞後、水中にダイビングし魚を捕らえる。
分類 有鱗目カナヘビ科

日本栗鼠 ニホンリス

場 森林の中
時 一年中
体 16~22cm
食 果実・種子・昆虫・苔藓など
 日本の哺乳類。昼行性で朝夕方に活動。主に樹上で生活。哺乳類テストスト(環状歯)
分類 ネズミ目リス科

日本雨蛙 ニホンアマガエル

場 水辺・水たまり
時 産卵期は5~7月
体 30~40mm
食 小昆虫・クモ(死んだり動かない物は食べない)
 指先全部に吸盤が付いている。樹上での生活に適応している。地中で冬眠。
分類 無尾目アマガエル科

荒川流域に飛来する鳥

大鷹・蒼鷹 オオタカ

手 留鳥・漂鳥
食 ハト・ムクドリ・カモ・ネズミ・ウサギ・リス
 平地から山地で見られる大型のタカ仲間。成鳥は目の上に白い眉のような線が目立つ。
分類 タカ目タカ科

鷹 トビ

手 留鳥・漂鳥
食 動物の死骸、カエル・トカゲ・ヘビ・魚
 海岸から山地まで普通に見られるタカ類。飛びながらよく嚼く。
分類 タカ目タカ科

鷹 ノスリ

手 留鳥・漂鳥
食 ネズミ・カエル・ヘビ・鳥・昆虫
 平地から山地の林や草原、農耕地、川原などで見られる。体がすんぐりとしたタカ類。
分類 タカ目タカ科

雉・雉子 キジ

手 留鳥
食 草の実・昆虫・木の实・草の芽
 彩り鮮やかな日本の国鳥。二つりほどの大きさで、尾が長い。
分類 キジ目キジ科

山魚狗・山翡翠 ヤマセミ

手 留鳥
食 イワナ・ヤマメ・ウグイ
 ハトより大きく、黒と白の斑模様。山地の湖や河川の上を、鳴きながらふわふわと飛び、清流で魚を捕る。
分類 ツポウソウ目カワセミ科

翡翠 カワセミ

手 留鳥・漂鳥
食 小魚・エビ・水生昆虫
 水辺の宝石と呼ばれるコバルト色の美しい小鳥。空中で停空翔舞後、水中にダイビングし魚を捕らえる。
分類 ツポウソウ目カワセミ科

緑啄木鳥 アオゲラ

手 留鳥
食 アリが大好物・昆虫
 日本列島特産のキツツキの仲間。弾丸のように速いスピードで飛び、頭が赤く体は黄緑色。
分類 キツツキ目キツツキ科

赤啄木鳥 アカゲラ

手 留鳥
食 アリ・昆虫・昆虫の幼虫
 黒、白、赤の3色のキツツキ。食物を探しながら、木の幹を螺旋を描いてするすと登る。
分類 キツツキ目キツツキ科

小啄木鳥 コゲラ

手 留鳥
食 昆虫
 日本最小のキツツキの仲間。頭から翼、背中、尾まで黒地に白の横縞模様。
分類 キツツキ目キツツキ科

椋鳥 ムクドリ

手 留鳥
食 木の实・昆虫
 平地や盆地の人里に棲み、巣は人家の屋根の隙間やつ袋、樹洞、巣箱などに作る。
分類 スズメ目ムクドリ科

鸺 ウン

手 留鳥・漂鳥
食 ガの幼虫・クモ・植物の種子・芽・つぼみ
 名の由来は、口笛を意味する「おそ」から。口笛のような、細く悲しげな鳴き声を発する。頬が紅褐色で頭が黒い。
分類 スズメ目アトリ科

鶺鴒 ヒヨドリ

手 留鳥・漂鳥
食 果実・花蜜・昆虫
 森林から住宅地まで幅広い環境で見られる。波状の軌跡を描いて鳴きながら飛び。
分類 スズメ目ヒヨドリ科

鶺鴒・百舌・伯勞 モズ

手 留鳥・漂鳥
食 バッタ・カエル・トカゲ・ネズミ・ハゼ・マサキの木の实
 甲高い声で平地に秋の訪れを知らせる。開けた葉緑山地の湖や河川の上を、鳴きながらふわふわと飛び、清流で魚を捕る。
分類 スズメ目モズ科

耐鶺鴒 ジョウビタキ

手 冬鳥
食 昆虫・木の实
 スズメより小さく、翼の斑点が目立つ。冬鳥の代表。人を恐れず近くまでくる。
分類 スズメ目ツグミ科

白腹 シロハラ

手 冬鳥・留鳥
食 昆虫・ミミズ・ナナカマドやカキの実
 公園や雑木林の暗い音で、ガサガサと大きな音を立て、採食を済ませはねのけ食物を探している。
分類 スズメ目ツグミ科

鶺鴒 ツグミ

手 冬鳥
食 木の实・ミミズ・昆虫
 平地でよく見る。身近な冬鳥の代表。芝生や畑などの地面で食物を探している。
分類 スズメ目ツグミ科

黄鶺鴒 キビタキ

手 夏鳥
食 昆虫
 姿も声も美しい森林性の小鳥。雄は黒と黄色のほっきりとした配色。雌は全体に褐色。福島の鳥。
分類 スズメ目キビタキ科

大瑠璃 オオルリ

手 夏鳥
食 羽化した水生昆虫
 姿も声も美しい小鳥。飛び立っても再び同じ枝にとまることが多く、ゆっくり観察できる。日本三鳴鳥の一羽。
分類 スズメ目キビタキ科

柄長 エナガ

手 留鳥
食 アブラムシ・昆虫・クモ
 平地から山地の林など幅広い環境で見られ、数が多い。スズメより小さいが尾が長い。
分類 スズメ目エナガ科

小雀 コガラ

手 留鳥
食 樹木の種子
 落葉広葉樹林に多いカラ類。小さな声で鳴き合いながら林の中を移動する。
分類 スズメ目シジュウカラ科

日雀 ヒガラ

手 留鳥
食 昆虫・ブナの種子
 針葉樹林が好きで、最も小型のカラ類。林の中を、鳴き合いながら群れで移動。冬は低山、夏は高山。
分類 スズメ目シジュウカラ科

山雀 ヤマガラ

手 留鳥
食 樹木の種子・繁殖期は昆虫の幼虫や成虫
 平地から山地の森林で見られ、胸から腰、腰などのレンガ色が目立つ。
分類 スズメ目シジュウカラ科

四十雀 シジュウカラ

手 留鳥
食 ガの幼虫・木の实
 都会の公園から山地まで、幅広く生息。喉から腹にかけてネクターのような黒い部分がある。福島の鳥。
分類 スズメ目シジュウカラ科

五十雀 ゴジュウカラ

手 留鳥・漂鳥
食 昆虫やクモ・樹木の種子
 木をすするすと登り、逆さになり下る特有の行動。標高1000m位の落葉広葉樹林に生息。
分類 スズメ目シジュウカラ科

目白・繡眼児 メジロ

手 留鳥・漂鳥
食 木の实・昆虫
 花の蜜が好きで小さな鳥。名前のとおり、目のまわりに白いリングがある。
分類 スズメ目メジロ科

花鶺鴒 アトリ

手 冬鳥
食 ナナカマド・カエデ・ブナの種子
 群れで見られることが多い冬鳥。後頭部が絶壁の形をしている。
分類 スズメ目アトリ科

頬白 ホオジロ

手 留鳥・漂鳥
食 イネ科の草の実・繁殖期は昆虫等
 出会う機会のも多い鳥の一つ。道端で食物を啄み、警戒し逃げ飛び姿がよく見られる。春を告げる鳥。
分類 スズメ目ホオジロ科

頭高 カシラダカ

手 冬鳥
食 草の実
 河川敷、農耕地、雑木林などの開けた環境で見られる。スズメと同じ大きさで頭に短い冠毛。
分類 スズメ目ホオジロ科

深山頬白 ミヤマホオジロ

手 冬鳥
食 草や樹木の種子・昆虫・クモ
 冠羽があり、頭の黄色が美しい。雑木林など、明るく下りて捕える。日本三鳴鳥の一羽(オオトリ・コトリ・ルリビタキ)。
分類 スズメ目ホオジロ科

河原鶺鴒・川原鶺鴒 カワラヒワ

手 留鳥
食 草の実・ヒマワリ
 ヒマワリの実が好きで、人家の庭にもやってきて、身近な鳥の一つ。太い嘴と翼に混じる黄色が特徴。
分類 スズメ目アトリ科

真鶺鴒 マヒワ

手 冬鳥
食 種子・穀物や草の実
 杉の実が好きで、杉林の上を飛び交わしながら群れで飛び。
分類 スズメ目アトリ科

紅猿子 ベニマシコ

手 漂鳥
食 イネ科・ダテ科・草の実
 山間部や丘陵の草むら、湖沼、河原を移動するとき、特有の柔らかな声でよく鳴き合う。
分類 スズメ目アトリ科

鶺鴒・比米 シメ

手 冬鳥(北海道では夏鳥)
食 エノキ・カエデ・種子
 繁殖は北海道で、越冬は本州以南。太い嘴で丸い頭の、独特のシルエット。
分類 スズメ目アトリ科

斑鶺鴒 イカル

手 留鳥・漂鳥
食 ヒマワリの実・サクらの実・繁殖期は昆虫
 黄色い嘴が目立つ。ふっくらとした体色の鳥。飛びと翼の先に白い大きな斑点が見える。
分類 スズメ目アトリ科

雀 スズメ

手 留鳥
食 秋は草の実・繁殖期は昆虫
 頭の茶色と黒の黒が目印の一つ。道端で食物を啄み、警戒し逃げ飛び姿がよく見られる。春を告げる鳥。
分類 スズメ目ハタオリドリ科

懸栗・榎鳥 カケス

手 留鳥
食 昆虫・小動物
 ハトほどの大きさにふわふわと飛び、他の鳥の鳴き声を巧みに真似ることがある。
分類 スズメ目カラス科

瑠璃鶺鴒 ルリビタキ

手 留鳥・浮鳥
食 昆虫・クモ
 ルリ色の綺麗な鳥。高山で繁殖。地上を這回り、昆虫を啄み、腰を下げると、明るく下りて捕える。日本三鳴鳥の一羽(オオトリ・コトリ・ルリビタキ)。
分類 スズメ目ツグミ科

菊鶺鴒 キクイタダキ

手 漂鳥
食 ガの幼虫・昆虫・クモ
 亜高山帯の針葉樹で繁殖。冬は暖地に移動。日本で一番小さな鳥。頭に黒のような金色の冠毛。
分類 スズメ目キクイタダキ科

田鳥・田汁里 タゲリ

手 冬鳥
食 昆虫・